

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [赤穂市立赤穂西小学校] 担当教諭名 [山本 泰典] (4年1組 12名)
 相手国・地域 [モルディブ]
 海外学校名 [Thajuddeen School] 担当教諭名 [Aminath Zamra]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	心をつなごう アートマイル	50

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	自然環境の保全
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	海の環境を自分たちの手で守ろう。 熱帯雨林やマングローブを守り、地球温暖化をストップしよう。 そして、美しい地球にしていこう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
相手国とのつながりを考える中で、環境についても調べることができ、児童自身の環境に対する意識が高まった。	計画通りに進めないといけない、どうしても手間がかかるなど、教師側の課題がある。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
まず、相手国のことに興味をもち、様々な人種の人がいることを知ることができ、意識が世界に向くようになった。また、テーマを環境に選択したことで、環境に目が向き、自分たちの周りのゴミ問題について、社会科と関連付けて考えることができた。	児童が相手国やテーマである環境に対して、興味をもたせるかを意識しながら進めるようにした。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月	自己紹介ムービーを撮り、それをフォーラムにアップしてお互いに見合った。	自分たちと同じくらいの児童が、外国では、どのような服装、学習・生活の様子なのかを感じることができ、驚いていた。	総合
共有 テーマ学習	10月	お互いの国が海でつながっていることから、海の環境について調べようと、日本側からフォーラムを使って、相手国に呼びかけた。	モルディブとの相違点を探る中で、身近な日本の海の色と、モルディブの海の色を比べ、不思議に思った児童が多く、環境に結びつけることができた。	総合
融合 メッセージ作成	10月 11月	フォーラムで呼びかけたところ、相手も賛成してくれたので、「環境保全」という大きなテーマの元で進めることができた。	モルディブも豊かな海を守るために、熱帯雨林やマングローブを調べたことに興味をもち、自分たちでもそのことについて調べを進めることができた。	総合
創造 壁画制作	11月 12月	原画づくりを日本側で行った。一人一人が原画を描き、それを一つにまとめたものをフォーラムで相手に打診した。	この活動が一番進まなかった。一人一人の原画をまとめる際には、思いがあったので、なかなかまとまらなかった。その後の制作はスムーズだった。	総合 図工
評価 振り返り 自己評価	2月	自分たちの制作した部分に、相手が制作した部分加わったものを見ながら、振り返りを行った。	できあがった作品をみることで、より一層の達成感を味わうことができた。	総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	2	モルディブの文化についてよく調べ、それと日本の文化について比べることができた。
異文化を理解する力	4	モルディブのことについて調べることは、大変興味をもって進めることができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	休憩時間なども使い、モルディブのことや自然環境の深刻さなどについて熱心に調べることができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	モルディブの児童が調べたことについても調べ直し、自分たちが進めた学習に加えることができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	ゴミの量を表す際には多すぎて量感覚がつかめないことから、つかみやすいものに置き換える等して考えた。
主体的に考え行動する力	4	テーマ決定や原画制作の際には、話し合いをくり返ししながら自分たちで進めることができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	発表会に向けての準備を行った際には、各パート毎に発表内容の吟味を協力しながら行えた。
思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	様々な思いが表すことができるように、お互いの調べた内容が盛り込むことができるように工夫した構図にできた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	相手国の絵の素晴らしさや、込められた思いについて学級内で話し合うことができた。